

埼臨技だより

発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter: @sairingi

平成25年度 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 臨時会員総会が開催される

平成25年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会が平成26年3月21日(金)にラフレさいたま 桜の間にて開催されました。本臨時会員総会の議案審議内容は、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成26年度事業計画案及び収支予算案、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成26・27年度役員選任でした。

総会は矢作強志事務局次長の進行により砂川進会長の挨拶から始まりました。

次に出席者から飯田眞佐栄氏(株式会社アムル)が議長に選出され、飯田議長の進行により総会役員が指名されました。資格審査委員長に奈良豊総務副部長、資格審査委員には東部地区から永野栄子氏(獨協医科大学越谷病院)、南部地区は穴原賢治氏(上尾中央総合病院)、西部地区は山本英俊氏(株式会社ビー・エム・エル総合研究所)、北部地区は笹野勝年氏(埼玉県厚生農業協同組合連合会 熊谷総合病院)が任命され、書記に鈴木由美子氏(浦和医師会メディカルセンター)、武藤由里子氏(医療生協さいたま生活共同組合川口診療所)、議事録署名人に手塚康晴氏(さいたま市立病院)、小松正人氏(さいたま赤十字病院)が任命されました。飯田議長より「13時30分現在の出席者数69名、委任状出席者数1677名、議決権行使書61名合計1807名は、第1から3号議案を審議するための必要者数である全会員数2306名の過半数を越えており定款第18条の規定により本総会が成立しています。」と宣言されました。



議事審議は、奈良資格審査委員長より議事日程が提案され、それに沿い飯田議長の進行により第一号議案「公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成26年度事業計画案」について砂川会長から、第二号議案「公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成26年度収支予算案」について島村益広会計部長より報告がありました。両議案とも質疑等はなく議案審議後満場一致で可決されました。

次に第三号議案「平成26・27年度役員選任について」柴崎光衛役員推薦委員長(獨協医科大学越谷病院)より役員候補者が提案されました。その後、議案審議に入り満場一致で可決されました。

飯田議長と総会役員、出席者の協力により、臨時会員総会議案進行は滞りなく終了しました。

引き続き、第43回埼玉県医学検査学会学会長の袴田博文氏（上尾中央医科グループ協議会）より12月21日開催の学会テーマや公開講演、演題募集等の案内がありました。

会員数の78%にも相当する1807名の有効票が得られ、総会が滞りなく開催できたのは会員皆様の協力によるものであり、改めて埼臨技の組織力を強く感じました。今後も会員のみなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（文責：奈良 豊）



創立60周年 及び 新法人移行 記念式典・ 祝賀会 開催される。

埼玉県臨床検査技師会の創立60年と公益社団法人移行を記念する式典と祝賀会が平成26年 3 月21日(金)ラフレさいたまにて開催されました。



砂川会長

記念式典は桜の間にて開催され、司会は矢作強志事務局次長と伊藤恵子総務部理事が進行しました。津田聡一郎副会長より開会の辞の挨拶があり、砂川進会長より会長挨拶として60年もの長きにわたり先輩達が築き継承されてきた技師会の長い歴史と今日の発展を感謝し、多くの来賓の方々にご列席いただくことに光栄であり改めて社会的責務を感じるというご挨拶がありました。

来賓の祝辞では上田清司埼玉県知事の代理として小野寺亘医療整備課長より埼玉県の医療・公衆衛生に多大な貢献をいただいていたとの大変うれしいお言葉をいただきました。金井忠男埼玉県医師会会長は埼玉県医師会精度管理事業

が25年を迎え事業開始からの当技師会の役割と貢献に感謝の言葉をいただきました。熊木孝子埼玉県看護協会会長、宮島喜文日本臨床衛生検査技師会会長からも当技師会への温かいお言葉と今後の発展を期待するお言葉をいただきました。式典にはご来賓として利根川洋二埼玉県医師会常任理事、小川清埼玉県診療放射線技師会会長、田中雅巳埼玉県臨床工学技士会会長、望月久埼玉県理学療法士会副会長、星克司埼玉県作業療法士会会長、上田善彦埼玉県臨床細胞学会会長、犬飼敏彦埼玉県



小野寺亘 医療整備課長



金井忠男 埼玉県医師会会長



熊木孝子 埼玉県看護協会会長



宮島喜文
日本臨床衛生検査技師会会長

糖尿病協会会長、川口克彦東武医学技術専門学校学校長、杉森裕樹大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科学科主任教授、大澤智彦日本臨床衛生検査技師会関甲信支部長並びに山梨県臨床衛生検査技師会会長、直井芳文茨城県臨床検査技師会会長、羽角安夫栃木県臨床衛生検査技師会会長、深澤恵治群馬県臨床検査技師会会長、今井眞澄長野県臨床検査技師会会長、下田勝二東京都臨床検査技師会会長、梅宮敏文千葉県臨床検査技師会会長、河野一郎神奈川県臨床検査技師会副会長、須永隆雄埼玉県臨床検査技師会第10代会長、工藤正十三第11代会長、小崎繁昭第13代会長、蒲池正次第14代会長、五内川里子第15代会長のご列席をいただき

ました。

ひきつづき賛助会員への感謝状の贈呈が行われました。賛助会員68社を代表し、アークレイマーケティング株式会社に登壇いただき砂川会長より感謝状が贈呈されました。続いて岡田茂治総務部長より会旗およびロゴマークの発表があり、奈良豊総務副部長、長岡勇吾総務部理事より会旗のお披露目が行われました。

閉会の辞が神山清志副会長より行われ、大変華やかで厳かな式典となりました。たくさんの方々にご参列いただき思い出に残る記念式典となりましたことを心より感謝いたします。

祝賀会は会場を移して桃の間にて開催されま

した。司会は矢作事務局次長と小島徳子会計部理事が進行しました。津田副会長より開会の辞の挨拶があり、砂川会長よりご参加いただいたみなさまへの感謝の気持ちを込めたご挨拶がありました。

ご来賓方々を代表し利根川洋二埼玉県医師会常任理事、小川清埼玉県診療放射線技師会会長、大澤智彦日本臨床衛生検査技師会関甲信支部長並びに山梨県臨床衛生検査技師会会長にご挨拶をいただきました。

ご出席いただいた来賓方々のご紹介があり、乾杯のご発声は須永隆雄埼玉県臨床検査技師会第10代会長にお願いし、祝賀会は盛会に始まりました。

しばらくの歓談ののち関甲信支部および首都圏支部の各会長にご登壇いただきご挨拶をいただきました。埼臨技の歴代会長にもご挨拶をいただきました。

閉会の辞は神山副会長の挨拶で創立60周年と新法人移行を祝う盛会な祝賀会は閉会となりました。

(文責：岡田茂治)



会旗披露



埼臨技歴代会長

第43回埼玉県医学検査学会のご案内 ～その4～

運営部長 小松 正人

今年12月21日（日曜日）大宮ソニックシティで「第43回埼玉県医学検査学会」が開催されます。只今、準備に向け袴田学会長のもと実行委員一同、鋭意努力している所であります。埼臨技が公益法人となった初めての学会ですので、会員の皆様方に大いに盛り上げていただきたいと思えます。さらに今回は、大宮ソニックシティの小ホールを利用し高校生の吹奏楽を楽しんでいただこうと企画を考えておりますのでご期待ください。もちろん学術講演及び、研究班の方たちのお力をお借りし、セミナーも実施いたします。そして、参加費2,000円のためになり、また、面白く元が取れる(?)学会になるように企画をしています。

私が記憶する限り過去5回の埼臨技の学会では天候が悪かった事はなかったと思えます。埼臨技学会は晴れの特異日?ですので皆様方におかれましては12月21日（日曜日）ご予約など入れずに是非、抄録片手に学会にご参加くださいますようお願いいたします。

この埼臨技だよりが配布される頃には演題募集が始まっています。会場は余裕をもって確保しておりますのでたくさんの演題申し込みをお待ちしています。

なお、学会の最新情報等は、この埼臨技だより、学会ホームページで随時、掲載しますのでご確認ください。



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 心臓超音波実技講習会

主催 生理検査研究班

実施日時：平成25年 7月27日(土)・28日(日)

実技：第1部 10時00分～12時00分

講義： 12時30分～13時30分

実技：第2部 14時00分～16時00分

会 場：埼玉県済生会栗橋病院 講堂 点数：専門教科－20点

講 師：7月27日(土)

講 義：私ならこう撮る、心エコーの基本的な描出法・評価法

講師・近藤 昌知(府中恵仁会病院)

実技講師：近藤 昌知(府中恵仁会病院)

井登 佳子(新宿検診プラザ)

阿部美智子(深谷赤十字病院)

7月28日(日)

講 義：私ならこう撮る、心エコーの症例と評価法

講師・早川 勇樹(自治医科大学附属さいたま医療センター)

実技講師：近藤 昌知(府中恵仁会病院)

井登 佳子(新宿検診プラザ)

阿部美智子(深谷赤十字病院)

早川 勇樹(自治医科大学附属さいたま医療センター)

参加人数：会員40名

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢教之 家城正和 高梨淳子 早川勇樹

関口知詠子 宮原広 田名見里恵

研修内容・感想など

今回の研修会は実技講習を午前と午後に分け、その間に講義を行うという組み合わせを3日間にわたり開催した。

実技講習は参加者数が予定人数ほど集まらなかったが、その分、講師としては、ひとりひとりと向き合える時間が増え、また、受講生は実際にプローブを握る時間が増え、互いに満足度の高い実技講習が行えたと思われる。

初日の講義は近藤技師が「私ならこう撮る、心エコーの基本的な描出法・評価法」について、それぞれの断面の描出のコツと評価すべきポイントを多くの心エコー図をもとにわかりやすく講演していただいた。

2日目の講義は早川技師が「私ならこう撮る、心エコーの症例と評価法」について、こちらも基本的な心筋梗塞、弁膜症について実際の症例画像をもとに講演していただいた。

今後の課題としては、先に実技講習を行い、その後、講義を聴く受講生と、先に講義を聴きその後、実技講習を行う受講生の満足度に差が出ないように検討していくことが肝要と思われた。

(文責：早川勇樹)

テーマ 聴覚検査の基礎とマスキング法

主催 生理検査研究班

実施日時：平成26年 1月18日 14時30分～16時00分

会 場：埼玉県県民健康センター 会議室C 点数：専門教科－20点

講 師：小幡 進(北里大学病院)

参加人数：会員50名 非会員1名(学生)

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢義教 関口知詠子 宮原広 田名見里恵
研修内容・感想など

今回は久々に聴力検査がテーマであった。聴力検査は多くの施設で実施されており、大病院、中小病院、そして健診領域でそれぞれの携わり方に大きな差があるように思われる。指導者や症例数が無いまま業務に関わっている多くの技師に対し、しっかりとした基礎知識と応用の効く手技を習得してもらうためにはもってこいの講師であった。内容は、音の伝わり方から精度の高い検査のための留意点、外耳道閉鎖効果と装着法、実施法、難聴の種類と実例、陰影聴取・両耳間移行減衰量とマスキングについて詳細な説明があった。最後に一般的に行われているプラトー法に対して、ABC法のメリットと検査の実際について解説があった。いずれも実用的に分かりやすくまとまっており、講習会後も講師に質問が群がる様子が見られた。私を含め、参加者にとって非常に有意義な時間を過ごすことができた。

(文責：野本隆之)

テーマ 心電図診断 ～見落としてはいけない波形と基礎知識を理解する～

主催 生理検査研究班

実施日時：平成26年 2月22日 14時30分～17時30分

会場：自治医科大学附属 さいたま医療センター 南館 2階 講堂

点数：専門教科－20点

講師：講演 1：不整脈を診る！不整脈を読み解くためのABC

講師：尾形 申弉（東京医科大学附属病院）

講演 2：不整脈解析に役立つ！心筋細胞レベルからみた心臓の電気活動について

講師：西村 昌雄（西村ハートクリニック院長）

参加人数：会員50名 非会員1名（学生）

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢義教 家城正和 早川勇樹 関口知詠子

宮原広 田名見里恵

研修内容・感想など

今回は認定心電技師更新指定研修会として、「心電図診断、見落としてはいけない波形と基礎知識を理解する」を開催した。

まずは、尾形技師に心臓電気生理の基礎知識からラダーグラムを利用して実際の不整脈波形を分かりやすく講演していただいた。心電図波形の求め方、判読基準、基本症例の特徴など説明され、メモを真剣に執っている受講生が多かったのが印象的であった。

認定心電技師として心電図を正確に判読するための知識も重要であるが、正確に記録するために心電計の性能を理解し、精度管理をすることも大切であるとおっしゃっていた。そして、患者状態を把握し、正確に記録・判読し、診療に適切にフィードバックすることが認定心電技師としての役割であると講演を受講し再認識できた。

続いて西村先生に心筋細胞レベルからみた心臓の電気活動について講演をしていただいた。研修会では取り上げることの少ない細胞レベルでの電気現象という難しい内容を大きなデバイダーを持ち壇上に立って説明していただいた。

先に不整脈を読み解くために必要な刺激伝導系の自動能や電気特性をイオンチャンネル、膜電位などの基礎から説明され、その後、実際の心電図を基に波形を読み解くポイントやその時起きている電気活動について前述の話を踏まえ、更に掘り下げて解説していただいた。

先生が仰っていた「不整脈はパズルを解くように楽しい」と感じるためには今回の研修会で学んだ基礎の重要性を再認識した講演であった。

(文責：関口知詠子・早川勇樹)

平成25年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第3回 理事会議事録

日 時：平成26年 3月14日(金) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、
奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、小島、
濱本、藤井、長澤、小関、小山、茂木、
山口

Ⅰ. 行動報告(平成26年2月13日～平成26年3月13日)

2月13日(木)公益社団法人第2回理事会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
島村、松岡、小島、濱本、藤井、
長澤、小関、小山、野瀬、遠藤

2月16日(日)チーム医療推進協議会主催研修会：
津田、矢作、藤井

2月17日(月)第43回埼玉県医学検査学会臨時会
議：長岡

2月19日(水)第43回埼玉県医学検査学会第5回
実行委員会：岡田、小島、長岡

2月20日(木)平成25年度公益社団法人埼玉県臨床検
査技師会臨時会員総会：
砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
島村、松岡、小島、濱本、藤井、
長澤、小関、茂木、小山、山口、
野瀬、遠藤

2月25日(火)平成25年度第2回検査室運営研修
会：津田、濱本、藤井、長澤、小山

3月4日(火)第3回学術部地区別研修会
(北部地区)：小関、小山、野瀬

3月4日(火)深谷市役所訪問：津田、濱本

3月8日(土)埼玉医科大学保健医療学部卒業式：
松岡

3月9日(日)東武医学技術専門学校卒業式：
神山

3月11日(火)60周年及び法人移行式典・祝賀会
企画会議：
砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、濱本、藤井、長澤

3月13日(木)埼玉県精度管理調査報告会：
津田、神山、前原、矢作、岡田、

猪浦、藤井、小関、小山、山口
3月13日(木)60周年及び法人移行式典・祝賀会
準備作業：藤井、長澤

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1)平成26年度永年会員表彰候補者について

2 総務部

1)「埼臨技だより」第418号 3月15日発行予定
2)埼臨技会旗について

3 事業部

1)2月25日、第2回検査室運営研修会を開催
した。
2)「全国検査と健康展」について

4 学術部

1)3月4日、第3回学術部地区別研修会(北
部地区)を開催した(参加者数29名)。
2)4月・5月の生涯教育研修プログラムの講
師変更について
埼臨技ホームページにて対応することと
した。

5 精度保証部

1)平成25年度日臨技施設認証について
申請を行った10施設、全てが認証された(新
規2施設、更新8施設)。

6 会計部

1)平成25年度会費2名10,000円、入会金2名
1,000円、合計11,000円の入金があった。
2)平成25年度生涯教育助成金400,000円(50,000
円×8回分)の入金があった。
3)だより第415号印刷代120,050円、だより第
416号印刷代100,450円、総会議案書印刷代
130,000円を石井印刷に支払った。

7 精度管理委員会

1)埼玉県精度管理調査報告書が刊行された。
2)3月13日、埼玉県医師会精度管理調査講評
会が開催された。

8 一都八県会長会議

9 関甲信支部

1)平成26・27年度、支部学術部門委員候補者
について

10 第43回埼玉県医学検査学

1)2月17日、臨時会議が開催された。
2)2月19日、第5回実行委員会が開催された。
3)埼臨技会誌表紙イメージについて
4)学会ホームページ開設について

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

1)会員動向(会費納入済)(平成25年度分)
会員数 2,306名

